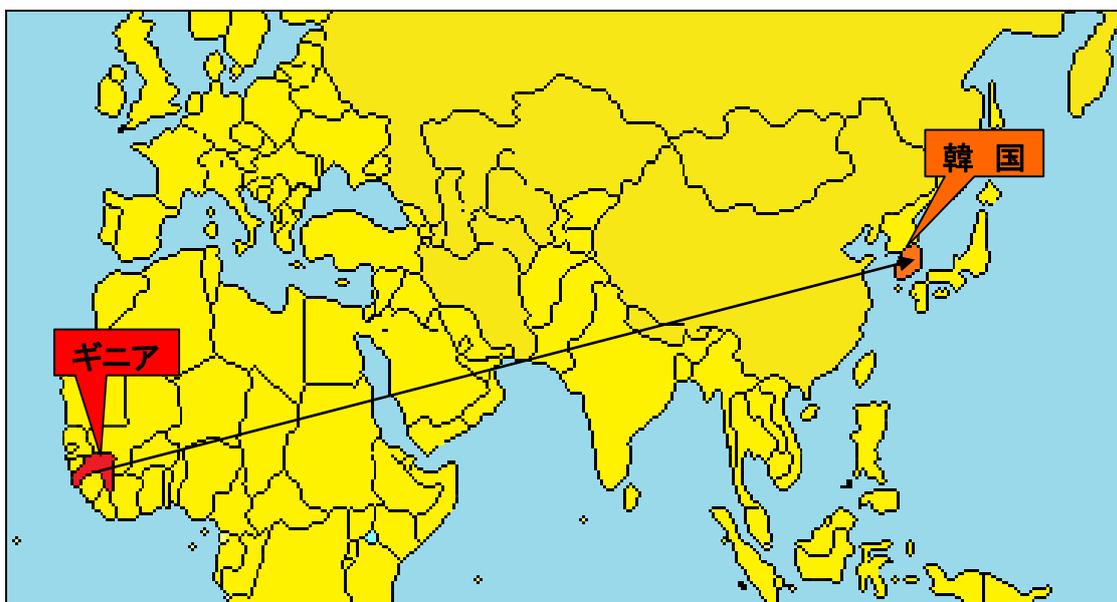


ギニアから韓国へ ウエストナイル熱の輸入例

2012年10月18日 ProMED 情報(The Korean Herald)



韓国保健当局は、アフリカ旅行中にウエストナイル熱に感染した韓国初の患者を報告しました。韓国疾病対策予防センター(KCDC)によると、患者は1～6月までギニアを旅行し、発病後帰国しました。麻痺を含むさまざまなウエストナイル熱に関連した症状を呈しており、現在治療中です。

ウイルスは、蚊を媒介してヒトへ感染する病気で、ヨーロッパ南部や中央部、アフリカ北部、南北アメリカで通常に見られます。現在ワクチンはなく、今年は、アメリカとカナダだけで120名以上が死亡しています。韓国で初の患者が発生したことから、KCDCはウイルスの監視を強化し、アフリカへ旅行する人に注意を呼びかけています。死亡率は、高齢者では15%と高いと言われていますが、感染したヒトが重症化するのはいくつかの国では1%以下です。ワクチンがないので、ウイルスが確実に土着しないようにすることが重要です。

ウイルスが急速に広がったアメリカでは、1999年まで感染の報告はありませんでした。

[ProMED 調整者]

今回のギニアでの報告も初めてとなります。ウイルスが地理的に世界中に広がっていることや多様な生体系の中でウイルスが存在していることを考えると、西アフリカでの報告は驚くべきことではありません。